

令和7年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(後期日程)

小 論 文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注 意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認し、乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所等がある場合は、ただちに試験監督者に申し出ること。
3. 解答は解答用紙（横書き）に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

【問題】次の文章（資料①、②）は、『暮らしの質を測る ——経済成長率を超える幸福度指標の提案』（2012年）からの引用である。文章を読んであとの問いに答えなさい。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開しておりません。

この部分については、著作権の都合上、HPで公開していません。

(出典) ジョセフ・E・スティグリッツ/アマティア・セン/ジャンポール・フィトゥシ (福島清彦訳) 『暮らしの質を測る ――経済成長率を超える幸福度指標の提案』金融財政事情研究会、2012年。

(注1) 同書は、「経済業績と社会進歩を計測する委員会」(フランス大統領ニコラ・サルコジによって任命された著者3名を含む24名の研究者)による報告書「われわれは暮らしの測り方を間違えている ――なぜGDPの合計はあわないのか」(2009)を翻訳して出版された。

(注2) 出題にあたり、文章の趣旨が変わらない形で原文中の小見出し、本文の一部、注釈、引用表記を省略した。また、資料①は、28-31ページ、資料②は、12-17ページより引用した。

問1 「生産高」と「幸福度」という言葉をもちいて、課題文の内容を400字以内で要約しなさい。

問2 幸福度(暮らしの質)を測るうえであなたが重要と考える指標を、問1で解答した本文の要約をふまえ、地域の具体的な事例をあげて、800字以内で説明しなさい。